



梅島小だより

11月号
令和7年10月31日
足立区立梅島小学校
校長 瀬谷 智代

フレーフレー うめじま!

副校長 有福啓典

「フレーフレー うめじま! がんばれがんばれ うめじま!」

10/7(火)に足立区連合陸上大会が実施されました。当日の朝、連合陸上大会に向かう6年生のために激励集会が行われました。5年生による迫力ある応援団のコールに合わせて全校児童が大きな声でエールを送りました。

6年生は下級生の気持ちを受け取り、あらためて気を引き締めて本番を迎えることができました。また、この日のために練習を積み重ねてきた5年生の息を合わせた応援はとても勇壮で、来年から学校を担っていくことを十分に期待させるものでした。下級生たちもこのような先輩の姿を見ることで、梅島小の伝統が引き継がれていきます。

この週に、こんな出来事がありました。校内の授業を見て回っていた時のことです。あるクラスで学習中に課題につまずき困っている児童がいました。一生懸命考えているその子に向かって先生がヒントを出して、思考を促したところ、

「フレーフレー ○○(児童名)」

という声が、クラスの中から聞こえてきました。多くの児童がそれに次々と声を合わせていました。その応援には、はやし立てるような雰囲気は感じませんでした。応援する気持ちが素直に言葉になったのでしょうか。それはその児童にも通じたようで、その後、無事に活動に戻りしっかりと学習に取り組むことができました。

学校で身に付ける学びを、「知・徳・体」とまとめることがあります。学習に取り組む意欲、計算する力や書く力、表現力、体を巧みに動かせること、コミュニケーション能力など多くの目標をおおまかに区分したものです。数字として表れやすい「知・体」の成長は顕著ですが、「徳」の成長はなかなか表面からは感じにくいものです。「徳」は、人との関わりの中で発揮されます。健全な社会生活を送るために役立つものが「徳」なのです。学校で一緒に生活し、勉強したり、悩んだり、協力したりすることを通して、友達と支え合いながら生きていく価値を体感できます。教室では、子供の願いをくみ取りながら目標を立て振り返りを行い、計画的に子供たちにそのような経験をさせています。

私が見た授業風景は、子供たち自身が内なる「徳」を大いに育てている証です。職員一同、今後も梅島小の子供たちの成長を見守っていきます。そして、ご家族の皆さんとともに応援を続けていきます。

「フレーフレー うめじま! がんばれがんばれ うめじま!」